

宮崎県警察へ高齢者事故防止啓発チラシ・反射材を7千枚寄贈

～高齢者ドライバーや歩行者の交通事故防止に向け注意喚起～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部宮崎損保会(会長：鍋山 大輔 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 宮崎支店長)では、高齢者の交通事故防止を目的に、高齢者事故防止啓発チラシと反射材(ブラックほたるくん)7千枚を10月31日に宮崎県警察へ寄贈しました。

始めに鍋山損保会会長から、「『第11次宮崎交通安全計画』では『令和7年までに年間死者数を31人以下』の目標が掲げられておりますが、令和3年は30名、令和4年は32名と、県警における着実な施策が進展されていると推察しております。宮崎県では、明日11月1日から1月31日まで「令和5年夕暮れ時の早めの点灯・ピカピカ運動」が実施されると聞いており、同運動期間中に当会のチラシと反射材を県警にご活用いただき、交通事故防止に役立てていただければと考えております。」と挨拶がありました。

引き続き、チラシ等の寄贈を受けた宮崎県警察本部 湯浅 晴之 交通部長から、チラシや反射材への寄贈に対する謝意とともに「宮崎県下では過去10年間の11月、12月および1月の交通事故死者数は150名に及んでおり、そのうち薄暮期と夜間に約6割の事故が発生しており、残念ながら反射材を身に着けている方は少なかった。今回寄贈いただいた反射材の普及を図り、交通事故防止につなげたい。」と謝辞をいただきました。

宮崎損保会では、引き続き、県警察や関係団体等との連携・協力関係を深めながら、着実に高齢者事故を減減できるよう、交通事故防止活動に取り組んでいきます。



鍋山損保会会長による挨拶



贈呈の様子



寄贈したチラシデザイン



記念撮影